

【 議 題 】

生活交通改善事業計画について

～令和 8 年度分～

【議案説明】

令和８年度「生活交通改善事業計画」について《鉄道》

伊予鉄道株式会社では、鉄道事業として、松山市街地を中心に松山北部の松山観光港に向かう高浜線、松山南部を経由して伊予市の郡中港に向かう郡中線、松山市の道後平野を横断して東温市の横河原駅に向かう横河原線の３路線、延長 33.9km を 53 両の電車で運行しております。また、軌道事業として、松山城を中心に周囲を循環する環状線、松山市駅から道後温泉を結ぶ松山市駅線、ＪＲ松山駅前から道後温泉を結ぶＪＲ松山駅前線、松山市駅から本町 6 丁目を結ぶ本町線の４系統、延長 9.6km を 43 両の市内電車で運行しております。

同社は、これまでも鉄道輸送の安全・安心やサービス改善等のため、各種の安全対策・バリアフリー対策等の設備整備を進めておりますが、近年、多くの鉄道設備が更新時期を迎え、多額の設備投資が必要となることから、各種補助を活用した整備の推進を計画しております。

今年度、同社では、愛媛県地域交通活性化中予地区協議会において、去る令和 8 年 2 月 26 日に承認いただいた令和 7 年度計画に基づき、鉄道輸送の安全確保に資する各種事業を実施しているところです。（令和 8 年度に事業繰越）

また、それに加えて、国の補助制度の活用により、鉄道輸送の安全確保に資する各種事業の実施を計画しており、別添の議案のとおり「生活交通改善事業計画」が愛媛県地域交通活性化中予地区協議会に提出されました。

〔伊予鉄道株式会社 実施事業のうち補助対象事業〕

事業項目	事業内容	補助制度	国補助金
(1) 線路設備	レール更新 (40kgN→50kgN) まくら木交換 (木製同種) 【城南線】	国	鉄道施設総合安全 対策事業費補助金
	レール更新 (40kgN 同種) 【城南線県庁前交差点内】		
	レール更新 (40kgN→50kgN) 連接軌道更新 まくら木交換 (木→PC) 【横河原線久米駅～鷹ノ子駅間】		
	分岐器交換 (40kgN 同種) 【軌道線南堀端交差点ダイヤモン ドクロッシング及び西堀端交差 点】		
	分岐器交換 (50kgN 同種) まくら木交換 (木製→合成) 【城南線道後温泉停留場内側線】		
	レール更新 (40kgN 同種) 【高浜線大手町駅～松山市駅間】		
(2) 電路設備	電柱建替【横河原線】		
(3) 信号保安設備	踏切遮断機取替【鉄道線※】		
	踏切動作反応灯取替【鉄道線※】		
	連動装置更新【横河原線横河原駅】		
	列車検知装置更新【各線区】		
	踏切保安装置 (器具箱) 更新 【各線区】		
(4) 変電所設備	変圧器又は整流器付随設備更新 【郡中線余戸変電所】		

※鉄道線：高浜線、郡中線、横河原線の3路線

〔令和8年度 総事業費及び補助内訳〕

総事業費：731,980千円

補助内訳：下表のとおり

補助申請先	総事業費のうち、 補助対象経費	補助率	補助申請(予定)額
国	731,980千円	1/3 (※)	243,333千円

※補助対象事業(3)信号保安設備の踏切動作反応灯更新 (補助対象経費 3,300 千円)
については、国査定により補助率 1/3→約 2/15

令和 8 年度 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業
「伊予鉄道株式会社 生活交通改善事業計画」

1. 事業の目的・必要性

- 線路設備のうち 40 kg N レールを 50 kg N レールに更新及び木製まくら木の同種交換
経年により摩耗の見られる 40 kg N レールを 50 kg N レールに更新及び同区間の木製まくら木の同種交換を実施し、列車運行の安全性向上を図る。
- 線路設備のうち 40 kg N レールの同種交換
経年により摩耗の見られる 40 kg N レールを同種の 40 kg N レール（新品）に交換し、列車運行の安全性向上を図る。
- 線路設備のうち 40 kg N レールを 50 kg N レールに更新及び連接軌道の更新、木製まくら木を PC まくら木に更新
経年により摩耗の見られる 40 kg N レールを 50 kg N レールに更新及び同区間の連接軌道の更新、木製まくら木を PC まくら木に交換し、列車運行の安全性向上を図る。
- 線路設備のうち 40 kg N 分岐器レールの同種交換
経年により摩耗の見られる 40 kg N 分岐器レールを同種の 40 kg N 分岐器レール（新品）に交換し、列車運行の安全性向上を図る。
- 線路設備のうち 50 kg N 分岐器レールの同種交換及び木製まくら木を合成まくら木に更新
経年により摩耗の見られる 50 kg N 分岐器レールを同種の 50 kg N 分岐器レール（新品）に交換及び木製まくら木を合成まくら木に交換し、列車運行の安全性向上を図る。
- 線路設備のうち 40 kg N レールの同種交換
経年により摩耗の見られる 40 kg N レールを同種の 40 kg N レール（新品）に交換し、列車運行の安全性向上を図る。
- 電路設備のうち電柱の建替
経年により老朽化したコンクリート柱の建替を実施し、列車運行の保安度向上を図る。
- 信号保安設備のうち踏切遮断機の取替
経年により老朽化した踏切遮断機の取替を実施し、列車運行の保安度向上を図るとともに、踏切道通行者の安全を確保する。
- 信号保安設備のうち踏切動作反応灯の取替
経年により老朽化した踏切動作反応灯の取替を実施し、列車運行の保安度向上を図る。
- 信号保安設備のうち連動装置の更新
経年により老朽化した連動装置を更新し、列車運行の保安度向上を図る。

■ 信号保安設備のうち列車検知装置の更新

経年により老朽化した列車検知装置を更新し、列車運行の保安度向上を図る。

■ 信号保安設備のうち踏切保安装置（器具箱）の更新

経年により老朽化した踏切保安装置（器具箱）を更新し、列車運行の保安度向上を図る。

■ 変電所設備のうち変圧器又は整流器付随設備の更新

経年により老朽化した変圧器又は整流器付随設備を更新し、列車運行の保安度向上を図る。

2. 事業の定量的な目標及び効果

鉄道施設総合安全対策事業費補助制度を活用し、下記の鉄道・軌道の設備を更新することにより、1142 万人（2025 年度、郊外線年間利用者数）及び 663 万人（2025 年度、軌道線年間利用者数）の輸送の安全を向上させる。

■ 線路設備のうち 40 kg N レールを 50 kg N レールに更新及び木製まくら木の同種交換

摩耗及び劣化の激しい城南線の 40 kg N レールを 50 kg N レールに更新（185m）及び同区間の木製まくら木の同種交換 281 本を実施し、運転保安度の向上を目指す。

■ 線路設備のうち 40 kg N レールの同種交換

摩耗及び劣化の激しい城南線県庁前交差点内（上り線）の 40 kg N レールの同種交換（68.5m）することにより、運転保安度の向上を目指す。

■ 線路設備のうち 40 kg N レールを 50 kg N レールに更新及び連接軌道の更新、木製まくら木を PC まくら木に更新

摩耗及び劣化の激しい横河原線の 40 kg N レールを 50 kg N レールに更新（24m）及び同区間の連接軌道の更新、木製まくら木を PC まくら木に交換（11 本）し、運転保安度の向上を目指す。

■ 線路設備のうち 40 kg N 分岐器レールの同種交換

摩耗及び劣化の激しい軌道線南堀端交差点ダイヤモンドクロッシング及び西堀端交差点内の 40 kg N 分岐器レールを同種交換することにより、運転保安度の向上を目指す。

■ 線路設備のうち 50 kg N 分岐器レールの同種交換及び木製まくら木を合成まくら木に更新

摩耗及び劣化の激しい城南線道後温泉停留場内側線の 50 kg N 分岐器レールを同種交換及び同区間の木製まくら木を合成まくら木に交換（66 本）し、運転保安度の向上を目指す。

■ 線路設備のうち 40 kg N レールの同種交換

摩耗及び劣化の激しい高浜線大手町駅～松山市駅間の踏切道付近の 40 kg N レールを同種交換（250m）することにより、運転保安度の向上を目指す。

■ 電路設備のうち電柱の建替

横河原線のコンクリート柱の建替を実施（1本）し、運転保安度の向上を目指す。

■ 信号保安設備のうち踏切遮断機の取替

鉄道線の踏切遮断機の取替（計24基）を実施し、列車運行の保安度向上を図るとともに、踏切道通行者の安全を確保する。

■ 信号保安設備のうち踏切動作反応灯の取替

鉄道線の踏切動作反応灯の取替（計5台）を実施し、列車運行の保安度向上を図る。

■ 信号保安設備のうち連動装置の更新

横河原線横河原駅の連動装置を更新し、列車運行の保安度向上を図る。

■ 信号保安設備のうち列車検知装置の更新

各線区の列車検知装置（計10基）を更新し、列車運行の保安度向上を図る。

■ 信号保安設備のうち踏切保安装置（器具箱）の更新

各線区の踏切保安装置（器具箱）（計6基）を更新し、列車運行の保安度向上を図る。

■ 変電所設備のうち変圧器又は整流器付随設備の更新

郡中線余戸変電所の変圧器又は整流器付随設備の更新を実施し、列車運行の保安度向上を図る。

3. 事業の内容と当該事業を実施する事業者

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画参照

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

総事業費 731,980千円（令和8年度実施予定）

負担額 国 243,333千円

伊予鉄道 488,647千円

5. 計画期間

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画参照

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画（保線・土木関係）

事業実施事業者名：伊予鉄道株式会社

計画期間 3 年 （単位：千円）

区 分		安全輸送設備整備実施年度					
		令和 7 年度		令和 8 年度		令和 9 年度	
		事 業 費	整備対象箇所	事 業 費	整備対象箇所	事 業 費	整備対象箇所
線路設備 まくら木	木製まくら木の同種交換	33,000	各線区の木まくら木交換 (N=1041 本)			35,000	各線区の木まくら木交換 (N=1000 本)
線路設備 まくら木	木製まくら木を PC まくら木に更新	28,000	郡中線の PC まくら木化 (N=330 本)			38,000	鉄道線の PC まくら木化 (N=490 本)
線路設備 レール	40kgN レールを 50kgN レールに更新	49,000	横河原線の 40kgN レールを 50kgN レールに更新 (L=607.5m)			43,000	横河原線の 40kgN レールを 50kgN レールに更新 (L=510.0m)
線路設備 レール まくら木	40kgN レールを 50kgN レールに更新及び木製まくら木の同種交換（城南線）			40,000	城南線の 40kgN レールを 50kgN レールに更新 (L=185.0m) 木まくら木交換 (N=281 本)	43,000	城南線の 40kgN レールを 50kgN レールに更新 (L=200.0m) 木まくら木交換 (N=320 本)
線路設備 レール	40kgN レールの同種交換 (道路交差点内)			42,000	城南線県庁前交差点内 40kgN レール交換 (L=68.5m)	35,000	城南線勝山町～警察署前間 40kgN レール交換 (L=77m)
線路設備 レール 接続軌道	40kgN レールを 50kgN レールに更新、踏切道連接軌道ブロックの更新			34,200	横河原線・久米～鷹ノ子駅間 40kgN レールを 50kgN レールに更新 L=24m、連接軌道更新及び PC まくら木化 (N=11 本)		

区 分		安全輸送設備整備実施年度					
		令和 7 年度		令和 8 年度		令和 9 年度	
		事 業 費	整備対象箇所	事 業 費	整備対象箇所	事 業 費	整備対象箇所
線路設備 レール	40kgN 分岐器レールの同 種交換			31,000	交差点内の 40kgN 分岐器レ ール交換	31,000	交差点内の 40kgN 分岐器レ ール交換
線路設備 レール	40kgN 分岐器レールの同 種交換	15,000	ダイヤモンドクロッシング 40kgN 分岐器レール交換				
線路設備 レール	50kgN 分岐器レールの同 種交換			39,100	50kgN 分岐器レール交換及 び合成まくら木化 (N=66 本)		
線路設備 レール	40kgN レールの同種交換 (踏切道内)			36,700	踏切道内 40kgN レール交換 (L=250.0m)	10,000	踏切道内の 40kgN レール交 換
線路設備 レール	ダイヤモンドクロッシン グ交換					35,000	ダイヤモンドクロッシング 交換

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画（電気関係）

事業実施事業者名：伊予鉄道株式会社

計画期間 3 年 （単位：千円）

区 分		安全輸送設備整備実施年度					
		令和 7 年度		令和 8 年度		令和 9 年度	
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所
電路設備 電柱	電柱建替			4,900	横河原線のコンクリート柱を建替（N=1 本）	25,000	鉄道線のコンクリート柱を建替
信号保安設備 踏切保安設備	踏切遮断機取替			31,800	鉄道線の踏切遮断機取替（N=24 基）	31,800	各線区の踏切遮断機取替
信号保安設備 踏切保安設備	踏切動作反応灯取替			3,300	鉄道線の踏切動作反応灯取替（N=5 台）	8,000	各線区の踏切動作反応灯取替
信号保安設備 踏切保安設備	踏切警報機取替					20,000	各線区の踏切警報機取替
信号保安設備 連動装置	連動装置更新			35,000	横河原線横河原駅連動装置更新	45,000	連動装置更新
信号保安設備 連動装置	列車検知装置の更新			33,480	各線区の列車検知装置の更新（N=10 基）	33,480	各線区の列車検知装置の更新

信号保安設備 踏切保安設備	踏切保安装置（器具箱） の更新			44,500	各線区の踏切保安装置（器具箱）の更新（N=6 基）	44,500	各線区の踏切保安装置（器具箱）の更新
信号保安設備 踏切集中監視装置	踏切集中監視システムの更新	45,000	高浜線・城北線の踏切集中監視システムの更新			36,000	各線の踏切集中監視システムの更新
変電所設備 変成機器	変圧器又は整流器付随設備の更新			356,000	郡中線余戸変電所 変圧器又は整流器付随設備の更新		

6. 事業者の収支改善計画

別紙の通り（伊予鉄道収支改善計画）

7. 協議会の開催状況と主な議論

- ・ 令和8年 月 日 愛媛県地域交通活性化中予地区協議会
- ・ 令和8年 月 日 愛媛県地域公共交通網再編協議会

（協議会の構成）

別紙のとおり（愛媛県地域公共交通網再編協議会構成員名簿）

令和8年 月 日

伊予鉄道（鉄軌道事業）収支改善計画

(単位：百万円)

	R1	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
旅客運輸収入	3,153	3,153	2,307	3,155	2,462	3,156	2,840	3,157	3,182	3,158	3,491	3,159	3,680	3,160	
運輸雑収	363	364	404	365	388	365	403	366	391	366	406	367	428	367	
収入計	3,516	3,517	2,711	3,520	2,850	3,521	3,243	3,523	3,574	3,524	3,897	3,526	4,108	3,527	
運行費用	3,157	3,156	2,895	3,155	2,987	3,154	3,083	3,153	3,248	3,152	3,531	3,151	3,841	3,151	
鉄軌道事業収支	359	361	-184	365	-137	367	160	370	326	372	366	375	267	376	
その他関連事業収支	7	7	20	7	7	7	6	7	0	0	0	0	0	0	
全事業収支	366	368	-164	372	-130	374	166	377	326	372	366	375	267	376	

(上記鉄軌道事業収支計画に盛り込んだ①増収策、②経費削減策の具体的な内容(内訳))

①増収策内訳		1	-7	4	8	5	11	7	27	8	34	10	41	11	0
インバウンド旅客の獲得			-	2	-	3	-	4	-	5	-	6	-	7	
広告宣伝料		1	-7	2	8	2	11	3	27	3	34	4	41	4	0
②経費削減策内訳		1	8	2	8	3	-6	4	0	5	-3	6	-43	6	0
省エネ車両への更新		1	8	2	8	3	-6	4	0	5	-3	6	-43	6	0
改善効果(①+②)		2	1	6	16	8	5	11	27	13	31	16	-2	17	0

愛媛県地域公共交通網再編協議会構成員

※任期3年、再任可(任期 R8. 4. 1～R11. 3. 31)

機関名	委員職氏名（構成員：47名）	
愛媛県	地域未来創生局長	村上 久（会長）
松山市	都市・交通計画課長	神野 誠
今治市	交通政策課長	渡部 泰生
宇和島市	企画課長	福島 康生
八幡浜市	政策推進課長	鎌田 恭廣
新居浜市	地域交通課長	石川 徹
西条市	くらし安心課長	藤田 隆二
大洲市	地域振興課長	三好 治
伊予市	都市整備課長	大塚 直人
四国中央市	公共交通課長	玉井 慎也
西予市	まちづくり推進課長	佐藤 陽一郎
東温市	都市整備課長	平岡 芳樹
上島町	公営事業課長	茂木 昭彦
久万高原町	総務課長	大西 洋三
松前町	財政課長	中村 明博
砥部町	地域振興課長	善家 孝介
内子町	総務課長	上山 淳一
伊方町	総合政策課長	菊池 暁彦
松野町	ふるさと創生課長	友岡 純
鬼北町	企画振興課長	佐々木 健次
愛南町	総務課長	濱 哲也
四国旅客鉄道(株)	愛媛企画部長	窪 仁志
伊予鉄道(株)	取締役 鉄道部長	浦戸 亮治
伊予鉄バス(株)	取締役 自動車部長	中川 智之
瀬戸内運輸(株)	取締役 運輸部長	川田 卓哉
宇和島自動車(株)	常務取締役	田中 敏弘
ジェイアール四国バス(株)	松山支店長	水元 雄一
伊予鉄南予バス(株)	代表取締役社長	岡田 好功
瀬戸内海交通(株)	専務取締役	佐津間 英樹
中島汽船(株)	専務取締役	渡部 直樹
石崎汽船(株)	常務取締役	清水 一之
防予フェリー(株)	松山支社長	奥 康幸
四国開発フェリー(株)	常務取締役	眞木 重壽
九四オレンジフェリー(株)	執行役員部長	瀬野 正朗
宇和島運輸(株)	代表取締役社長	松岡 正幸
国道九四フェリー(株)	取締役 総務部長	古谷 元嗣
県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	谷口 政賀津
松山河川国道事務所	計画課長	森 貴洋
大洲河川国道事務所	計画課長	谷野 祐司
愛媛県	道路維持課長	矢野 英敏
	港湾海岸課長	西山 誠司
愛媛県警察本部	交通規制課長	水関 和男
学識経験者	愛媛大学教授	松村 暢彦（副会長）
四国運輸局	首席運輸企画専門官	齊藤 信一郎
公共交通利用者	—	倉本 逸男
	—	横手 裕子
	—	井沼 一